

文部科学大臣権争奪 第45回 全国高等学校ゴルフ選手権春季大会・中部地区予選
兼 第47回 中部高等学校ゴルフ選手権春季大会
特別競技規則

中部高等学校・中学校ゴルフ連盟
競技委員会

開催日 2025年2月6日(木)～8日(土)
開催コース ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場 西コース

この大会はR&A・USGA発行のゴルフ規則(2023年1月施行)及び日本高等学校・中学校ゴルフ連盟競技規則と、この競技のローカルルールを適用する。
これらの追加・変更については各競技に適用される競技規定やプレーヤーへの注意事項を確認のこと。下記に参照するローカルルールの全文については2023年2月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること(www.jga.or.jpで閲覧可)。別途規定されている場合、または適用規定が明示されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は:一般の罰(2罰打)

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則18.2)

- アウトオブバウンズは白杭の柱のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- アウトオブバウンズに止まったり、そのアウトオブバウンズを超えて止まった球は、他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まったとしてもアウトオブバウンズである。

2. レッドペナルティーエリア(規則17)

- 片方だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- ペナルティーエリアが境界に隣接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界まで及び、その境界と一致する。
- ペナルティーエリアの縁がコースの境界(アウトオブバウンズの境界)と一致する地点をプレーヤーの球が最後に横切ってからそのペナルティーエリアの中で見つかるか、そのペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、ローカルルールひな型B-2.1に基づいて反対側の救済を受けることができる。
- ペナルティーエリアのためのドロップゾーン
ペナルティーエリアのためのドロップゾーンが設置される場合、1打の罰に基づく救済の追加の選択肢となる。ドロップゾーンは救済エリアであり、球はその救済エリアにドロップされ、その救済エリアに止まらなければならない。

3. 異常なコースの状態(動かさない障害物を含む)(規則16)

- 修理地
 - 青杭と白線によって定められる区域はプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則16.1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。
 - 張芝の継ぎ目;ローカルルールひな型F-7を適用する。
 - パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づき救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。
しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後にどの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。
ジェネラルエリアの張り芝の継ぎ目(その芝自体を除く)は修理地とみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか、触れている場合、またはその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則16.1bに基づいて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。

b)動かさない障害物

- 1) 白線の区域と動かさない障害物がつながれている場合、一つの異常なコース状態として扱われる。
- 2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域と其中で生長しているすべての物は、一つの異常なコース状態として扱われる。
- 3) ウッドチップやマルチ(木屑)などを表面に敷いた道路や通路。ウッドチップやマルチ(木屑)はルースインパディメントである。
- 4) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない(例外:ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝)。
- 5) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。

6) 電磁誘導カート軌道

電磁誘導カート用の人工の表面を持つ2本の軌道は、全幅をもって1つのカート道路とみなす。プレーヤーの球がそのカート道路の上にある場合及び、意図するスイング区域が障害となる場合、規則16. 1bに基づく救済を受けなければならない。

一方、カート道路によってプレーヤーの意図するスタンス区域にのみ障害が生じる場合は、あるがままの状態プレーするか、規則16. 1bに基づく救済を受けるかどうかはプレーヤーの選択である。

- c) コース内の防球ネットが動かさない障害物となる場合、その障害物の上を超えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決めなければならない。このローカルルールの違反の罰は2打。

4. 不可分な物

次の物は不可分な物であり、罰なしの救済は認められない。

- a) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤー、ケーブル、巻物、その他の物。
- b) ペナルティーエリア内にある人工的な護岸やパイリング(枕木等の構築物)。

5. 恒久的な高架の送電線

ローカルルールひな型E-11を適用し、次のように修正する:プレーヤーの球がインバウンズの送電線に当たったことが分かっているか、事実上確実な場合、そのストロークはカウントしない。そのプレーヤーは規則14. 6にしたがって直前のストロークを行った場所から罰なしに球をプレーしなければならない。

例外:高架線の鉄塔や支柱に球が当たった場合には適用しない。

6. クラブと球の規格

- a) 適合ドライバーヘッドリスト:ローカルルールひな型G-1を適用する。
 - b) 溝とパンチマークの仕様:ローカルルールひな型G-2を適用する。
 - c) ストロークを行うとき、プレーヤーはパターを除き46インチの長さを超えるクラブを使用してはならない。
:ローカルルールひな型G-10を適用する。
 - d) 適合球リスト:ローカルルールひな型G-3を適用する。
- 上記(a)~(e)に対する違反の罰:失格

7. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り換え

ラウンド中(規則5. 7aに基づいてプレーが中断されている場合を含む)にプレーヤーが損傷させたクラブは「壊れた、または著しく損傷した場合」にだけ取り換えることができる。この修正を除いて、規則4. 1a(2)は適用される。

このローカルルールに関して、次の場合にクラブが「壊れた、または著しく損傷した」ことになる。

- ・ シャフトがバラバラになる、裂ける、曲がる(シャフトがへこんでいるだけの場合を除く)
- ・ クラブフェースのインパクトエリアが目に見えて変形している(クラブフェースに傷が入っている、亀裂が入っているだけの場合は除く)
- ・ クラブヘッドが目に見えて変形している(クラブヘッドに亀裂が入っているだけの場合を除く)
- ・ クラブヘッドがシャフトから外れている、または緩んでいる。
- ・ グリップが緩んでいる。

例外:クラブフェースとクラブヘッドに単に亀裂が入っているだけでは「壊れた、または著しく損傷した」ことにはならない。

8. 険悪な気象状況によるプレーの中断(規則5. 7)

次の信号がプレーの中断と再開に使われる:

即時中断: カート無線で通報する

プレーの再開: カート無線で通報する

注意: 危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習をやめるように勧告し、それでも練習をやめない場合には失格となることがある。

9. 練習(規則5)

a) ストロークプレーのラウンド前、またはラウンドとラウンドの間の練習(規則5. 2)

規則5. 2bは次の通り修正される。

プレーヤーは、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技コースで練習してはならない。

但し指定練習区域は除く。

b) ホールとホール間の練習(規則5. 5b)

規則5. 5bを次の通り修正する。

2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

- ・終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
- ・終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

10. キャディー

規則10. 3aは次のように修正される: プレーヤーはラウンド中、キャディーを使用してはならないこのローカルルールの違反の罰は、ローカルルールひな型8H1を適用する。

11. 参加資格

プレーヤーは各競技の「競技規定」で定められる参加資格の条件を満たしていなければならない。

12. スコアカードの提出(規則3. 3b)

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーの両足が所定のスコアリングエリアから出た時点で委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーはスコアリングオフィシャルにその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

13. 競技終了時点

本競技は競技委員長の終了宣言をもって終了する。

14. 競技の成立

本競技の競技者全員が規定のラウンドをホールアウトできなかった場合、委員会は競技成立について別途協議するものとする。

15. タイの決定

タイの決定方法は競技規定に定められるか、委員会により会場で公表される。

16. 委員会の裁定

委員会はローカルルールを修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

17. 参加の取り消し

委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。

18. 行動規範

プレーヤーはエチケット違反、または非行があった場合には制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1. 2aに基づいて失格とする場合がある。

注意事項(共通項目)

1. 当日選手に発熱、体調不良等の健康不安がある場合は、出場をお控えください。
2. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールでのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
3. 委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. プレーヤーまたはその関係者(保護者等を含む)にエチケット違反、または非行があった場合には制裁を受けることがある。また、重大な非行があった場合には規則1. 2aに基づいて失格とする場合がある。
5. 練習は指定練習場で行い、打撃練習場では備え付けの球を使用すること。また、指定された打席を利用すること。球数は一人20球。
6. すべての移動において乗用カートへの乗車を認めるが、率先して目土を行うこと。プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを科す場合がある。
7. 使用ティは、男子は **コンペティションティ白マーク**、女子は **コンペティションティ赤マーク** とする。
8. 9ホール終了後、プレーを遅らせなければクラブハウスに立ち入ることができる。
9. 日本高等学校・中学校ゴルフ連盟並びに会場クラブの服装規定を順守すること。服装規定に違反がある場合、競技委員会は競技者の参加資格を取り消すことができる。
10. コース内では緊急時以外の携帯電話の使用を禁止する。
緊急時の連絡先 愛知工業大学名電高等学校 岩田 携帯 090-4236-4890
11. ギャラリーの観戦は、1番、10番スタート付近、および9番ホール・18番ホールパッティンググリーン周辺とする。
12. バッグはバックは口径9. 5インチ、重量は13キロを超えないようにすること。サブバッグの使用は禁止する。
13. 指定練習日は「競技規定」に定める。
14. プレー開始前およびプレー中、自動販売機等の使用は禁止とする。
15. 自身のスタート30分前までに受付完了にご協力ください。
16. 全組9ホール終了後、昼食休憩の時間を取る。

2024年度 中部高等学校・中学校ゴルフ連盟 主催競技 追加のローカルルール

本競技において『2024年度中部高等学校・中学校ゴルフ連盟主催競技 ローカルルール』、下記のローカルルールおよび注意事項を追加する。

〈8. 険悪な気象状況によるプレーの中断(規則 5. 7)に追加〉

険悪な気象状況によるプレーの中断(規則 5. 7)の信号は「カートに搭載のナビ」によっても伝えられる。

〈10. キャディに追加〉

キャディー(共用のキャディー)

規則 10.3a は次のように修正される:プレーヤーはラウンド中に委員会が指定した者以外をキャディーとして使用してはならない。(キャディーは乗用カートの操作のみを行う)

競技委員長